第２学年○組　道徳指導案（略案）

　　　　　　　　　　平成２８年　月　　日　　曜日　第　時

１　資料名，内容項目　　　金のおの　Ａ－（２）正直・誠実

２　議論し，考えるための指導上の工夫

　★導入で３つの具体的な生活の例を出すことで，「正直」について考えやすくする。

　★テーマ的な発問や補助発問を通して，多様な視点から価値を考えられるようにする。

　★多様な考えを出させるため，二人のきこりになってペアで話し合ってから，全体の場で発表させるようにする。

３　本時のねらい

　○正直で誠実な生活をしようとする心情を育てる。

４　本時の学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 時間 | 議論し，考えるための指導上の工夫 |
| 導入 | １　「正直」について考える。  　・宿題を忘れたことを先生に　　　言うとき。  　・友達の大切なものを借りて　　　いて壊してしまったとき。  　・だれも見ていないときに，　　　友達の図工の作品を壊して　　　しまったとき。 | ３ | ★導入で３つの具体的な生活の例を出すことで，「正直」について考えやすくした。 |
| 展開 | ２　本資料を読んで話し合う。  （１）はじめのきこりは金や銀のおのももらって，どんな気持ちになったでしょうか。  　・これでまた仕事ができる。  　・神様ありがとう。  （２）二人のきこりはどんな大事なことに気付いたでしょう。  ・正直に働けば鉄のおのを返してくれるかな。  ・これからはよくばらず正　　　直に言う。 | 35 | ★テーマ的な発問や補助発問を通して，多様な視点から価値を考えられるようにする。  ★多様な考えを出させるため，二人のきこりになってペアで話し合ってから，全体の場で発表させるようにした。 |
| 終末 | ３　本時で感じたことや考えたことを書く。  　・ものを壊したときは，正直に言おうと思った。 | 45 |  |